

胃ろうカテーテル交換時に使用する造影剤に関する情報公開

このたび胃ろうカテーテル交換時に使用する造影剤「ガストログラフィン経口・注腸用」の既存製品の一部から製造過程で発生する「ニトロソアミン類」が基準値を超えて検出されたことが製薬会社より報告されました。このニトロソアミン類は、長期間にわたり高濃度で摂取した場合に発がん性の懸念が指摘されている物質ですが、日常生活においても食品を通じて一定量が摂取されている物質です。当該処置における当院の使用量（年間150mL未満）では、管理値より低いため、健康への影響は極めて低いと考えられます。当該処置においては、カテーテルの位置確認や合併症予防のために本剤の使用が有用です。現在のところ、同等の代替手段が十分に確立されていないため、治療上の必要性和安全性を総合的に判断し、本剤を継続して使用しています。

今現在は、新たに流通しました基準値に適合した製品を使用しています。本件についてご不明な点がございましたら主治医もしくは薬剤部へお尋ねください。

2026年7月1日

南九州病院